

シャイン

— 受講のきっかけと今 —

シャイン 037号

亡き夫からのプレゼント

川崎 弘子さん

法人名：社会福祉法人 増井福祉会 施設名：虹のこころ保育園

資格：産業カウンセラー



【受講のきっかけ】

2011年、職場の人事担当だった夫が、必要性を感じ、産業カウンセラーの資格を取得しました。そんな夫が2015年、56歳で突然この世を去り、悲しみに明け暮れて一年が過ぎる頃、色々な資格を持っていた夫と同じ勉強をしてみようと思い、最初に目に留まったものが産業カウンセラーの資格だったのです。程なくして養成講座に通うことになりました。もともと心理学には興味はありましたが、私の意志ではないので資格取得のきっかけは不純かな。

【資格取得後の活動状況】

養成講座でクライアント役になる時、私はいつも夫との思い出話ばかりを話し、始終涙を流していました。いつもいつも泣きじゃくる私を見て、ある日、巷で厳しくて有名な指導者がポツリと呟きました。「そんなにメソメソしている人はカウンセラーになれないよ。プロのカウンセリングを受けてみたら」と。養成講座の仲間とのセッションでもずいぶん救われましたが、プロのカウンセリングを受けてから、一年もかからずに夫のことを涙を流さずに話せる自分がいたのです。これには自分はもちろん、周りの方が大変驚いていました。何かをしていないと不安で、夫を追いかけようとしていた気持ちはいつしかなくなっていました。そして現在、私は悲しみを乗り越え保育園の園長として元気に働いています。

保育園では、子どもたちだけでなく、離婚や子育て

などで悩む保護者の対応や、保護者の対応に苦慮する保育士のケアなど、園長としての管理業務は様々です。それから、産業カウンセラーに大切な労働者と経営者の橋渡しも私の仕事です。保育士の声を聴き、経営者に理解してもらえるように伝えることで、管理職として、職場の環境づくりや地域社会に評価される保育園づくりに努めています。こうした現在の私を支えてくれているのが、養成講座で学んだ傾聴のスキルと仲間たちです。養成講座との出会いがなかったら、夫の死を乗り越えることも園長としてのマネジメント業務もきっとできなかったと思います。

そして養成講座の受講を決意させたのは、まぎれもなく天国にいる“愛する夫”からのプレゼントだと信じています。これからもずっと…

